

# The 16th International Display Workshop (IDW '09) 参加報告

コーニングホールディングジャパン合同会社 コーニング研究所

水嶋 康之

## Report on The 16th International Display Workshop (IDW '09)

**Yasuyuki MIZUSHIMA, Dr.**

*Corning Technology Center, Corning Holding JAPAN G.K.*

### 1. はじめに

2009年12月9日から11日までの3日間、宮崎ワールドコンベンションセンターサミットにてIDW'09が開催された。この会議場は海のすぐそばで、ゴルフ場とも隣接しており、非常に美しい景色の場所で行われた。

この会議は、毎年12月ごろ日本各地で開催されているが、ITE (Institute of Image Information and Television) とSID (Society of Information Display) の共催による日本でも最大規模のディスプレイに関する国際会議である。LCD, PDP, 有機EL, 電子ペーパーなど、種々のディスプレイ及びそれに関連した分野での発表が行われ、日本のみならず、アジア地域を中心に毎回1,000人以上の参加者を集めており、今年も1,300人を超える参加者があった。

### 2. 口頭発表&ポスター

今回は、口頭発表、ポスターを含め、500件以上の発表があり、過去最高を記録した2008年(557件)には及ばなかったものの、昨今の厳しい経済状況にも係わらず、非常に盛況であった。また、日本のみならず、韓国、台湾からの発表が非常に多く、3カ国いずれの国からも100件を超える発表があり、ディスプレイ関連事業、研究開発等がこれらの国で非常に盛んであることを物語っていると感じた。

セッションは、一部重複はあるものの、以下のように分かれて、口頭発表、ポスターとも行われた。(セッションと発表件数)

Workshops:

1. LC Science and Technologies (LCT) ; 87件
2. Active Matrix Displays (AMD) ; 63件
3. FPD Manufacturing, Materials and Components (FMC) ; 76件
4. Plasma Displays (PDP) ; 32件
5. EL Displays and Phosphors (PH) ; 30件
6. Field Emission Display and CRT (FED) ; 13件

7. Organic LED Displays (OLED) ; 17件
8. 3D/Hyper-Realistic Displays and Systems (3D) ; 17件
9. Applied Vision and Human Factors (VHF) ; 41件
10. Projection and Large-Area Displays, and Their Components (LAD) ; 20件
11. Electronic Paper (EP) ; 26件
12. MEMS for Future Displays and Related Electron Devices (MEMS) ; 22件
13. Display Electronic Systems (DES) ; 32件

#### Topical Sessions :

1. Flexible Displays (FLX) ; 18件
2. Input Technologies (INP) ; 13件

以前はCRTのセッションがあり、10~15件程度の発表がされてきたが、2008年以降はこのセッションはなくなっている。また逆に、2008年以降、Flexible Displaysのセッションが加わり、今年は新しくInput Technologiesのセッションが加わった。

口頭発表は、7会場において同時平行で進められており、また、ポスター発表も3日間、決められた時間に2~3セッションごとに進められた。また、夕方にはオーサーズインタビューが設けられており、会場で質問できなかった人たち



写真 会場の様子

が集まって活発に議論がされていた。

### 3. 受賞およびトピックス

今回は、Best Paper 賞として10件(大学・公的研究機関5件、企業5件)、Outstanding Poster Paper 賞として22件が選ばれた。Best Paper 賞の中で個人的にも興味深かったペーパーをいくつか紹介する。

- ・金沢工大三上教授から、高屈折率基板、マイクロレンズアレイなどの使用により最大パワー効率が200-lm/Wを超える有機ELデバイスの発表があった。従来よりも高効率化が大きく進んだことが示された。
- ・台湾ITRIのLiuらは、3種類のコレステリック液晶を用いて白黒で大型サイズ(20cmx100cm)のディスプレイについて発表した。解像度は300DPIの像が、Roll-to-Rollで、熱で書き込みができてとしている。
- ・フィリップスのLenssenらは、電気泳動方式による色調の鮮やかなカラー電子ペーパーについて発表した。既に、数年前から電子ペーパーについて発表してきているが、単純な構造、グレースケール実現、色調の改良など、この方式での電子ペーパーが大きく進歩してきていることがうかがわれた。

### 4. 展示

展示は一時期に比べるとやや少なく25件であったが、企業だけでなく、大学からも9件の展示があり、各大学の意気込みを感じた。その中で特に個人的に目を引いたのは、次世代モバイル用表示材料技術研究組合(TRADIM)のプラスチックフィルムをベースとしたRoll-to-Rollで作製されたLCDで、2008年には新聞発表があったものの、実物を目にしたのは私としては初めてで非常に興味深かった。さすが「ものづくり」日本という感じがした。

### 5. おわりに

先にも触れたが、このところの経済状況でど

のような感じの会議になるかと思うところもあったが、大変盛況でこの分野まだまだ成長するのではないかという勢いを感じることができ

た。

2010年のIDWは、12月1日から3日まで福岡国際会議場にて開催される予定である。

日本の大学のガラス研究者地図

